



学校だより 第2号

令和3年4月12日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明

四月七日、入学式が

行われました。

改めまして御入学

おめでとうございます。



校長 佐藤 浩

四月七日、令和三年度の入学式が行われました。昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、密を避けるために、式を二回に分け参加人数を少なくして実施しました。五学級百五十二名の全員参加は叶いませんでしたが、保護者の皆さまに御臨席いただき挙行することができました。保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

いずれの会も、凛とした雰囲気の中で進められましたが、一年生の様子からは、これからの中学校生活を充実させていこうという強い意気込みが感じられました。

在校生代表の三年生Aさんが「歓迎の言葉」で、新入生に安心感を与えるとともに、やる気を引き出してくれる温かい言葉を投げかけてくれました。新入生を温かく迎えようという上級生の気持ちも伝わってきました。そして、新入生代表のBさんの「誓いの言葉」では、中学校生活での抱負が力強く語られ、会場全体を明るく爽やかな雰囲気にしてくれました。いずれも堂々としていて、とても立派な「言葉」でした。これからの成長を大いに期待したいと思います。

新入生、百五十二名・五学級、二年生、百五十四名・四学級、三年生、百四名・三学級、全校で、四百二十二名・十二学級で、益々活気のある学校にしていきたいです。今年度も、本校の教育活動に対し、変わらぬ御理解、御支援をお願いいたします。

今年度は、4月8日に対面式、9日に部活動説明会を行うことができました!



生徒会長
Cさんの挨拶

入学式の翌日、4月8日に対面式、9日に部活動紹介など、様々な行事が行われました。昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け中止となりましたが、今年度は、2・3年生は生徒会役員の10名のみと1年生全員が対面しました。生徒の規律ある参加態度、主体的な参加姿勢が随所に見られ、改めて本校生徒の素晴らしさを実感することができました。特に、対面式、部活動紹介は、生徒主体で行いました。対面式では、生徒会活動、学校生活、学校行事、授業について紹介しましたが、話す上級生はいずれも原稿なしで、自分の言葉で気持ちを込めて話していました。新入生はそんな上級生の姿を見ながら話を聞いていました。堂々と話すその姿に、憧れの気持ちを抱く生徒も多くいたのではないのでしょうか。部活動説明会は



興味深く真剣に話を聞く
1年生

放送により行いました。各部の部長が、それぞれの目標、活動内容、活動場所、年間の予定などを紹介し、入部を呼び掛けました。部活動は、本日4月12日(月)から4月27日(火)まで、仮入部・見学期間となり、4月28日(水)から本入部となります。



生活委員長
Dさんの活動の紹介

<入学式「校長式辞」を紹介します> 新1年生に、「想像力を働かせること」と「多様性を尊重できるようになること」を期待します！



(略) さて、グローバル化の進む時代を生きる新入生の皆さんにとって、中学校で本格的に勉強する英語の力を身に付けることはとても重要ですが、それ以上に肝心なのは、異なる文化や異なる価値観を認めた上で、堂々と自分の意見を述べ、競い合い助け合うことのできる、「強くしなやかな心」を育てることだと思います。これは言葉で表すのはやさしくても、実際にはとても難しいことです。そこで、入学に当たり、皆さん一人一人が「強くしなやかな心」をもつこと

ができるようにするために、皆さんに期待することを二つお話しします。

第一に、「想像力を働かせる」ということです。この「想像力」を英語では「イマジネーション」と言います。

異なる文化や価値観を認めるには、自分が目にしたり体験したりしたことのない未知のものに対し、先入観にとらわれることなく、自由に想像力を働かせることが何よりも必要ではないかと、私は考えます。

たとえば、今自分がとった一つの行動が、周りにいる人たちにどのような影響を及ぼすかを想像してみる。たとえば、となりにいる友だちが人知れず悩んだり苦しんだりしているかもしれないことに思いをはせてみる。あるいは、地球の反対側で、中学一年の皆さんよりはるかに幼い女の子が、水くみのために、毎日片道5キロの道のりを往復している姿を思い描いてみる。

このように様々な場面を想定し、それぞれの人たちの悲しみや苦しみと、その背景にあるものを想像するなど、自分をもつ想像力を精一杯働かせて考えてみてください。

「空想は知識より重要である。知識には限界がある。想像力は世界を包み込む。」これは現代物理学の父と言われるアインシュタインの言葉です。

学校生活の中で、数多くの教科の学習を充実させたり、新たな友だちや先生方との関わりを豊かにしたり、幅広い分野の本をたくさん読んだり、そして、様々な文化や芸術を味わったりすることなどは、皆さん一人ひとりが、想像力を広げていく上で大きな助けになるものと思います。そして、これからの自分の果たすべき役割や、自分が信じてることのできる価値を新たに見出していく上で、大きなヒントをくれるものと思います。皆さんには、日々の生活を充実させ、想像力「イマジネーション」を闊達にして欲しいと願っています。

第二に、「多様性を尊重できるようになる」ということです。この「多様性」を英語では「ダイバーシティ」と言います。

みんなが同じでなくても良いのです。他の人と自分が違うとき、自分も認め、他の人も認める。このことが本当に心の中心にしっかりと根付いていけば、いじめのようなことは起きなくなり、今世界で発生している問題の多くも解決できると、私は信じています。しかし、この「自分も認め、他の人も認める」ということは、自分が理解できない他の人の個性や価値観に出会っても、「多様性の時代」という名のもとで、考えることをせず、「人は人、私は私」「ヨソはヨソ、ウチはウチ」と割り切り、関わることを避けることではありません。考えることを止め、関わることも止めるということは、コミュニケーションの不全を招くこととなり、真の友達、真のクラスメートと言える関係を作ることができなくなってしまいます。決して好ましいことではありません。多様性を尊重するという態度が形だけのものになってしまえば、かえって人と人との壁は、高く、厚くなるのではないのでしょうか。

皆さんには、ぜひ、他の人の話をよく聞いて欲しいと思います。様々な価値観が書かれている読み物をたくさん読んで欲しいと思います。そして、音楽や美術でも、スポーツでも、歴史や科学でも、何でも構いません。興味のある分野の人たちの世界観を、じっくり堪能して欲しいと思います。

私は、この新宿西戸山中学校を、『「違う価値観」や「違う世界観」を伝え合い、理解し合うために、たつぷりと贅沢に、時間を使える場所にしたい。』と、考えています。

「変だと思ったことは変だと言える、嫌いなものは嫌いだと言える、気になった部分は堂々と自分の意見を言って議論を重ね、分かったり、分からないままだったりしても構わない、正しさや間違いも各自が各自で思うままに判断できる、そして、その上で、仮に分かり合えなくても、興味がなくても、それらを自分たちの世界から追い出すようなことは、決してしない。」

このようなことこそが、「真の多様性の尊重」だと、私は信じています。皆さんには、こうしたことを理解して、行動する中で、「多様性、ダイバーシティを尊重できる」人へと、成長して欲しいと願っています。

以上、「想像力を働かせる」こと、そして、「多様性を尊重できるようになる」ことの二点を、皆さんに期待します。 (略)



入学式の「歓迎の言葉」と「誓いの言葉」 いずれも素晴らしかったです！

在校生代表 3年Aさんの「歓迎の言葉」を紹介します



(略) どんな気持ちでその席に座っていますか。もちろん、夢や希望でいっぱいだと思いますが、それと同じくらい皆さんの不安もあるのではないのでしょうか。二年前の今日、私もこの場所で緊張していました。先輩方の大きな背中が少し怖く感じたことを覚えています。でも大丈夫です。わからないことは聞いてください。そして、安心して私たちについてきてください。

中学校では、授業時間が伸びて習う教科ごとに専門の先生が教えて下さるので、分かりやすくなります。一回一回の授業に好奇心があふれることでしょう。また、定期テストが年に四回あります。試験勉強はまとめてやると大変です。授業をしっかり受けましょう。

皆さんが楽しみにしている部活動は、小学校よりも圧倒的に数が増えます。また学年を越えた仲間と共に切磋琢磨し、大会や練習でたくさんの嬉しさや悔しさを味わうことでしょう。他校との試合では、ドキドキワクワクしたり、相手校の強さに圧倒されたり、色々な体験ができます。

また、生徒主体による委員会活動では、生徒会、学級委員会をはじめとする六つの委員会が中心となり、自分で考え、工夫する力、挑戦する力を身につけることができます。委員会活動にも積極的に参加してください。新宿西戸山中学校は、時代に合わせて校則の一部を見直すなど、新しいことにどんどんチャレンジしていく校風があります。これを受けて、私たち生徒会はこの考え方をスローガンとして、校門の掲示板に掲げています。ぜひ見ていってください。(略)

今日から晴れて中学生になる皆さん、まずは、一步一步自分にできることをこなしていきましょう。私たちも前進していきます。一緒に駆けぬけましょう。

安心感を与える、温かい言葉でした！

新入生代表 1年Bさんの「誓いの言葉」を紹介します

(略) 今日私たちは、新宿西戸山中学校の一員として、第一歩を踏み出します。初めてすることが沢山あります。例えば、朝起きて制服に着替えます。これは中学制になれば当たり前のことですが、私たちにとっては、初めての経験です。また、中学校では定期テストというものが始まります。さらに勉強も難しくなります。そして、一番大きな変化は教科ごとに先生が変わることです。(略)



しかし、中学校では、楽しみなものもあります。それは部活動です。ここにいる新一年生は、多くの考える試練を与えられた世代なのかもしれません。その考える力を使って勉強と部活を両立して、新宿西戸山中学校の一人の生徒として自覚を持ち、一步一步成長していきます。そして、先生方、先輩方、地域の皆さん。これからの3年間いろいろなことを教えてもらい、支えていただくことも多いかと思います。教えていただく中で、色々なことを学び、自立成長していきたいと思えます。そして、保護者の方々、どんな時でも隣にいてくれて、私たちが一番頼れる存在です。中学生になり、小学生の時よりも接する時間が減ったり、大変な思いをさせたりしてしまうかもしれません。しかし、私たちは、絶対に感謝の気持ちを忘れません。これからも私たちの一番近くで、一番頼れる存在であり続けてください。

私たち一年生は、これから3年間、挑戦すること、仲間と一緒に楽しむこと、考えたり工夫したりすること、教えてもらうこと、感謝すること、という5つのことを頑張っていこうと思います。3年後には胸を張って卒業できるように、一日一日成長していくことを、ここに誓います。

やる気に満ちあふれた、力強い言葉でした！